

「財務応援Super」機能アップ対応版(Ver.8.1) 概要

「財務応援Super Ver.8.1」での対応内容をご案内します。

バージョン表記について

「Ver.8.1」のように小数点以下 2 桁目は省略して記載している箇所があります。正確なバージョンはシステム起動後の[ヘルプ]-[バージョン情報]で確認できます。

1.バージョンアップについて

財務応援 Super・・・Ver.7.6 以降

* 電子申告プログラム「財務応援 Super Ver.8.0.e3」「財務応援 Super Ver.8.0.e3 a」をお使いの場合

電子申告プログラムVer.e3、e3 aをお使いのお客様の場合は、財務応援Super Ver.8.1へのバージョンアップ後に、電子申告プログラムVer.e4のセットアップが必要となります。電子申告プログラムVer.e4が公開されてから財務応援Super Ver.8.1へのバージョンアップを行ってください。

財務応援 Superの電子申告プログラムを含めたバージョン表示は「Ver.8.1 0.e4」となります。

2.データの利用について

* データの受け渡し処理の注意事項

財務応援 Super/Lite Ver.7.0以降で作成したデータを使用することが可能です。

「データ共有サービス」(会計 Weplat)を利用する場合は、双方の財務応援 Super/Lite が Ver.8.0以降でなければ利用することはできません。また今回機能アップされる項目は双方の財務応援 Super/Lite が Ver.8.1以降でなければ利用することはできません。

3. システムでの機能アップ内容について

元帳・試算表印刷の機能追加

1. 総勘定元帳の補助有科目印刷有無指定の対応

総勘定元帳の印刷時に、補助科目の発生がある主科目を印刷するか否かを設定する機能を追加しました。補助元帳を印刷するケースで、該当の主科目の総勘定元帳が不要な場合は、元帳初期設定の補助有科目「2.印刷しない」を選択することができます。

2. 元帳・試算表のプレビュー後の戻り画面変更

元帳や試算表の印刷プレビュー画面を閉じるとメインメニューに戻っていましたが、作成条件を指定する画面に戻るように変更しました。

・ 総勘定元帳 ・ L型 B4 試算表 / 全科目試算表 / B4 試算表

会計期間の変更対応

仕訳が入力されていても、決算期間の変更(設立年月日や決算月の変更)ができるようになりました。会計期間変更後は該当期間に仕訳をそのまま残します。また、期末月の仕訳がある場合は、期末月の日付も会計期間の期末の月に変更されます。

ただし、変更する会計期間外に仕訳がある場合はその期間への変更はできません。あらかじめ変更後の期間外の仕訳を抹消してから行ってください。

消費税申告書の様式対応

1. 申告書様式変更対応

税務署で配布している消費税申告書(一般、簡易共)にあわせて、右上の税務署処理欄に「翌年以降送付不要」の欄を追加しました。

The image shows a portion of a tax return form. At the top right, there is a box containing the alphanumeric code 'G K 0 3 0 1'. Below this, there is a table with two columns. The first column is labeled '※ 一連番号' (Serial Number) and the second column is labeled '翌年以降送付不要' (No need to submit next year) with a radio button next to it. The '翌年以降送付不要' checkbox is highlighted with a red rectangle.

2. 「モノクロ印刷(枠無)対応

消費税申告書印刷に「モノクロ印刷(枠無)」を追加しました。A4 白紙用紙にモノクロプリンターで印刷して、税務署で OCR 処理できるモノクロ版の消費税申告書(一般用/簡易課税用)の様式に対応しました。モノクロ OCR 消費税申告書は OCR の枠がない様式です。

消費税の「売上科目明細表」「仕入科目明細表」からの個別元帳確認・訂正対応

消費税の「売上科目明細表」「仕入科目の明細表」の各科目明細行から<5個別元帳>で個別元帳・訂正画面を開けることができるように対応しました。個別元帳画面で仕訳の訂正後、「売上科目明細表」「仕入科目明細表」に戻ると、変更後の金額が確認できます。

The screenshot displays two windows from the accounting software. The left window, titled '消費税計算基礎表1 売上科目の明細表', shows a table of sales items. The right window, titled '個別元帳', shows a detailed ledger for a specific transaction. An orange arrow points from the 'Sales Item Detail Table' to the 'Individual Ledger' screen, indicating the flow of data. The 'Sales Item Detail Table' has columns for item name, amount, and tax. The 'Individual Ledger' screen shows a detailed view of a specific transaction, including the date, amount, and description.

全科目試算表での補助科目印刷対応

全科目印刷試算表に補助科目の出力有無を指定できるようになりました。

仕訳履歴機能の改善

仕訳履歴の確認時に、<2修正のみ>で履歴のある仕訳のみを表示する機能を追加しました。また、<6パスワード>で仕訳履歴を削除するためのパスワードを設定できるように対応しました。

仕訳データ作成・取込機能対応

<F12ユーティリティ>に、入力されている形式と同じ形式で仕訳データの作成/取込ができる「51.仕訳データ作成」「52.仕訳データ取込」を追加しました。これまでの「48.仕訳テキストファイル作成」「49.仕訳テキストファイル取込」は、すべて単一振替伝票として取り込まれていましたが、本機能により、複合伝票で「51.仕訳データ作成」を行ったデータは、複合伝票として「52.仕訳データ取込」で取り込みを行うことができます。また、仕訳データの取り込み時に取り込み先会社の会計期間に合わせて年の自動補正を行うことができます。

減価償却費年次繰越の自動化対応

期末更新後、最初の青色申告書または収支内訳書の起動時に、繰越処理の有無を選択できるように対応します。

従来の<6年次繰越>は、<Ctrl> + <6年次繰越>へ移動します。

会社送受信、仕訳送受信解除機能

会社送受信や仕訳送受信をしている会社データの通信状態を解除する機能を追加しました。

仕訳検索OR機能の追加対応

仕訳検索の条件にOR検索を追加しました。<8 AND / OR>で条件の切り替えができます。この機能は仕訳検索条件範囲画面でも有効です。

個別元帳入力の効率化

仕訳入力から個別元帳を呼び出した後、年月日をスキップして<F10 科目指定>ボタンで帳簿科目にジャンプする機能を追加しました。

バックアップ・リストア機能の充実

1. バックアップ/リストア時の処理件数表示

次のバックアップ/リストア処理を行う際に、【終了した件数/全体の件数】を表示します。

- ・全社一括バックアップ
- ・選択バックアップ
- ・終了年指定一括バックアップ
- ・終了年指定一括移動リストア (HD 他HD)

2.1 社単位のバックアップ/リストア機能

1 社単位でバックアップ/リストアする機能を追加しました。

MAP連動データ作成機能の充実

これまでは MAP 連動データ作成時に、「B4 規定科目順序」しか選択できませんでしたが、「試算表（全科目）順序」「推移表（全科目）順序」から選択できるように対応しました。

帳票の線の太さ設定機能の対応

帳票印刷を行う際に、罫線の太さを 10 段階で調節できる機能を追加しました。

一度設定した印刷条件は PC ごとに保存されますので、次回起動時も前回の設定が有効です。印刷プレビュー画面でマウスの右クリックしたメニューから「線の太さ指定」を選択すると次の画面になります。設定は点線、細線、太線を各 10 段階の中から設定できます。

摘要入力時の呼出キーの記号対応

摘要呼出コードの先頭に「*」「/」「+」「-」の 4 種類を設定できるように対応しました。呼出コードを記号による分類別を使うことができ、入力効率が更に向上します。

データ共有機能の充実

1. マスタ規制の変更

データ共有の「共有マスタ規制」で規制「1.する」と選択し顧問先のログイン ID でログインした場合は、すべてのマスタで変更できませんでしたが、補助科目と摘要について登録変更できるように対応しました。

2.1 社同時入力データの対応（Super ネットワーク版）

データ共有を行っているデータでも 1 社同時入力ができるように対応しました。なお、会計事務所と顧問先との 1 社同時入力は従来通り行えません。

Windows ユーザーごとのメニューカスタマイズ対応

メニューのカスタマイズの取り込みを Windows のログインユーザーごとに行うように変更しました。これにより、VPN サービス等を利用されている場合、ログインするユーザーごとに機能を規制することができます。

仕訳送受信会社での会社チェック機能の対応

仕訳送受信で、異なる会社データの仕訳の受け取りができてしまうことがありました。

このようなことを防ぐために、センターと出先の会社データの組み合わせをチェックする機能を追加しました。

摘要の分類窓 ON/OFF 機能の対応

摘要の分類窓が設定されていても、仕訳入力時に分類窓の表示の有無を選択できるようにしました。

財務応援 Super ネットワーク版での JOB 数の変更

財務応援 Super のネットワーク版では、従来購入ライセンス分の JOB 数しか利用できませんが、PC 1 台毎に 2 JOB（2 社）の処理ができるように対応しました。

電子マニュアルの変更

電子マニュアルに「基礎編」を追加しました。また「今回の変更点」について「次回以降、起動時にこのウィンドウを表示しない」のチェックボックスを追加しました。

マイページへのリンク画面の変更

セットアップの終了時に、マイページへのリンク画面を表示するよう対応しました。

4. 動作環境

OS	Windows® 7 / Vista / XP / 2000 (*1、2、3)
メモリー	XP/2000 の場合 128MB(256MB 以上推奨) Vista の場合 512MB 以上 (1GB 以上を推奨) 7 の場合 1GB 以上
CPU	XP/2000 の場合 400 MHz 以上 (500MHz 以上推奨) Vista の場合 800MHz 以上 (1GHz 以上を推奨) 7 の場合 1GHz 以上
ディスプレイ	1024×768 ドット(小さいフォント)を推奨(*4)、 大きいフォントでは正常に表示できません。 Windows® XP の場合標準フォントかつ 96DPI を使用 Vista の場合標準のスケール (96DPI) を使用 7/Vista/XP の場合カスタム DPI 設定: 96ピクセル/インチを使用
表示色 (画面の色)	7/2000 の場合 high Color(16Bit)以上 Vista / XP の場合中(16Bit)以上
ブラウザ	Internet Explorer 6.0 Service Pack1以降。 インターネットでデータ通信を行う場合に必要。 別途インターネットプロバイダとの契約が必要になります。
HDD	270MB 以上
最大用紙サイズ	B4(A4 に自動縮小可)
プリンター	レーザープリンター (ポストスクリプト対応プリンター除く) (*5) またはインクジェットプリンター(ADF 付)

(*1): Windows7は64ビット版も使用できます。

(*2): ターミナルサーバーとして使用しない場合、Windows® Server 2003 / 2008は、サーバー用 (ネットワーク版) として使用する場合のみ動作保証します。

(*3): ターミナルサーバーとして使用する場合、Windows® Server 2003 / 2008のコンピューターをターミナルサーバーにし、リモートデスクトップ接続により利用することが可能です。なお、Windows® Server 2003 / 2008のコンピューターにセットアップしたクライアントプログラムをサーバーで直接操作することは、動作保証外となります。

(*4): 800×600ドットについては動作保証外です。

(*5): カラープリンターは EPSON 製が対象です。

5. ライセンスについて ネットワーク版

プログラムの起動には、ライセンスが必要です。セットアップ後、システム起動時にライセンスを設定してください。すべてのクライアントで、サーバーのデータ格納ディレクトリが選択されている場合は、いずれか1台のクライアントPCでライセンスを設定する事でプログラムの起動が可能になります。

6. プロダクトIDについて スタンドアローン版

プログラムのセットアップ(インストール)時には、プロダクトIDの入力が必要です。プロダクトIDは製品固有の24桁の数字で、同一のプロダクトIDは存在しません。1つの製品を複数のコンピューターにセットアップされた場合、2台目以降では、別のプロダクトIDを入力されるまでプログラムの起動ができなくなります。

プロダクトIDが記載されたラベルは、CD-ROMのケース(ライセンス商品の場合はライセンス使用許諾証またはプロダクトIDのご案内ハガキ)に貼られます。

ライセンス商品のご案内

「応援シリーズ」で、同一プログラム(スタンドアローン版)を複数本使用される場合、2本目以降を割安価格でお求めいただけるライセンス商品(及び年間プログラム保守契約)をご用意しています。ライセンス商品はこんなときに最適です。

企業又は会計事務所内において、複数台のパソコンで使用する場合

本社以外の出先拠点(支社、営業所等)において使用する場合

会計事務所において、在宅処理や外出先処理(モバイル用途)等の所外で使用する場合

学校等の教育用途として使用する場合

【著作権・使用許諾契約について】

プログラムを使用するには、著作権法及び使用権許諾契約により、1台のコンピューターにつき1ライセンスの使用許諾が必要です。